

令和4年度 秋田県立秋田北高等学校 学校評価

	分掌名(生徒指導部)		記載者 牧野 太
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 自他共に生命を大切にする心の育成に努める。 2 自主・自律の行動と規範意識の向上に努める。 3 基本的な生活習慣の確立に努める。 4 学習に専念できる諸環境の整備に努める。 5 保護者・地域社会・諸機関と良好な関係を構築し、ともに手を取り合い、生徒を育む体制作りを努める。 6 全職員による共通実践のため、各分掌・各学年との密接な連携を図る。 		
具体的な計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 自らが事故を招いたり、事故に巻き込まれないように、責任ある行動を心懸けさせ、規範意識や安全な行動(生命の大切さ等)について集会等で注意を促す。 2 端正な身なり、挨拶の励行、交通ルール・マナーの遵守を心掛けるよう指導するとともに、風紀・交通安全委員会の自主的活動の支援に努める。職員、生徒合同の昇降口指導や交通安全指導を年2回以上実施する。 3 登校時、授業時の遅刻を防止し、規律正しい生活を心掛けるよう指導する。 4 「学校生活困りごとに関する調査」を年2回以上実施し、生徒の悩みの早期発見に努め、職員全体で対応する。 		
具体的な取組状況	前期評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期開始から1年生を中心に軽微な交通事故が多い。継続的な啓発の必要性を感じている。警察から自転車指導警告が2件。イヤホン、スマホである。 ・SNS等への書き込みなど今後も注意、指導する必要がある。 ・朝学習に間に合わない遅刻はほぼ同じ生徒である。 ・地域住民の方々へは生徒の自転車・歩行、送迎の車で迷惑をかけている。 ・行事参加願いの在り方について再考の必要がある。 (コロナ禍における行事等の参加について安易な面があると思われる) ・人間関係のいざこざから問題が大きくなる。担任、部活顧問、生徒指導部、管理職等と緊密に連携をとって対処していく必要があると感じている。 	総合評価
	後期評価	<ul style="list-style-type: none"> ・全体とすれば、北高生は伝統的に、思いやりの心を持った者が多く、「生命を大切に」する心はあると思うが、不用意に相手を傷つける発言をする者や、交通ルール・マナーを守らない者がいる。継続的な指導が必要。 ・一部の生徒に限られてはいるものの傘の盗難が断続的にあり、更なる規範意識の向上に努める必要がある。 ・PTA(むつみ会)合同の交通安全指導はコロナの影響で中止となった。 ・更衣室の壁の損傷、トイレにトイレットペーパーが詰まっていたりと指導のあり方が問われていると考えている。良心に訴える指導が必要である。 	B
今年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルール・マナーの遵守 ・いじめ防止 ・器物損傷への対応 ・SNSの使い方への指導 ・行事参加願いの再考(昨年来) (バンド・ダンス等) 		今後の改善策
			<ul style="list-style-type: none"> ・しつこく指導。 学年、学級担任との連携強化。 ・心配な生徒への目配り。 特に発達障害の生徒への対応。 ・貸し傘を継続。 ・被害にあったら、すぐに申し出を。 ・良心に訴える指導。